

第4回豊前市立学校再編成準備協議会 総務部会 会議録(要点)

日 時	令和6年7月8日(月) 18:30 ~ 20:30
場 所	豊前市役所3階 第1会議室
出席者	委 員 11名(欠席3名) ----- 事務局 4名
	<p>協議内容</p> <p>(1) 検討項目およびスケジュールについて</p> <p>▶主な質疑、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし。 <hr/> <p>(2) 豊前市立学校の新しい校章について</p> <p>1 校章の作成方法について</p> <p>▶主な質疑、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校名の際も公募したし、校章デザインはそこまで凝ったものではないので子どもや地域の人の意見を広く募集する意味で公募がいい。 ・業者委託では形としては出来上がるだろうがそこに気持ちはこもっていない気がする。 <p>▶承認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生に限らず、案②の広く公募とすることで決定。 <hr/> <p>2 募集要項について</p> <p>① 応募資格について</p> <p>▶主な質疑、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校名募集の時、市外からどれくらいの応募があったか？ →271件中、豊前市出身者も含めて16名から応募があった。 ・誰でも応募可能としたら、どういう方法で市外の方に広報するのか？ →市報以外にも、豊前市HPと公式LINE等の媒体を使って広報する。 <p>▶承認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ア. どなたでも応募可能とすることで決定。 <hr/> <p>② 謝礼について</p> <p>▶主な質疑、意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の学校が4校あるが、それぞれについて謝礼があるのか？ →それぞれの学校で校章を決めるので、それぞれに謝礼がある。そのための予算取りはしている。 ・採用作品と最優秀作品に違いはあるのか？ →案3は最優秀作品を採用する。広く募集するために次点の賞を用意している。 ・手書きでの応募もあると思うが、レタッチすることもできるようにするのか？

→補正できるようにする。募集要項にも記載する。

・応募資料として現在の各校の校章は提示するのか？

→HPには掲載予定。

・案3で、最優秀作品以外に優秀作品も公表するのか？

→公表は最優秀作品のみとする。

▶承認事項

・案3の最優秀作品5万円、優秀作品各1万円相当の豊前市特産品とすることで決定。

③ その他募集事項について

▶主な質疑、意見

・なし。

▶承認事項

・事務局案で承認。

3 選定方法について

▶主な質疑、意見

・4校それぞれに最大42案を事前に選定するのか？

→そのとおり。4校全てに応募する人もいれば1校の人もいると思うが、応募の中から事前に皆さんに選定していただく。

▶承認事項

・事務局案で承認。

事務局からの提案

学校再編成により豊前出身の島田芳文氏が作詞された校歌（大村小、黒土小、横武小、合岩中）がなくなるため、島田氏が作詞された旧築上中部高校の校歌を豊前中学校の校歌としてほしいとする要望が市民から届いている。また、校章については、当該高校の校章は月桂樹をモチーフとしており、校歌にも「緑濃き月の桂をかざしつつ」と出てくる。豊前中学校は当該高校の跡地に新築されること、この校歌、校章を豊前中学校へ引き継ぐことは地域の想いを未来へつなぐことになると事務局は考えている。校章、校歌を引き継ぐことについてご協議いただきたい。

▶主な質疑、意見

・校歌を残すのはとてもいいことだと思う。校章については1校だけ公募しないのは不自然。改めて公募した方が全体としてのトーンが揃うように思う。

・同じく、島田芳文さんがこれだけたくさんの校歌を作詞してくれているので残したいと思う。ただ、校章は新しく公募がいい。

・ここで決めてしまうのではなく、事務局案として中部高校の校章を選考作品に含めるのはどうか？

→公募するのであれば、謝礼も出る以上それは難しい。

▶承認事項

- ・校歌については、中部高校の校歌を採用する。
- ・校章については、中部高校の校章は不採用とし、他3校と併せて公募する。

(3) 豊前市立学校の新しい校歌について

1 校歌の作成方法について

▶主な質疑、意見

- ・合岩小が合併した時は一任して作詞作曲をしてもらった。
- ・作詞作曲をお願いするとそれなりの費用がかかってしまう。
→公募となると、そもそも応募があるのかが不安ではある。推薦者については、金額面は今後お会いして話をさせてもらう中で決めていくことになる。
- ・築上中部高校の校歌と同様に合岩中の校歌が島田氏の作詞なので、歌詞の校名だけ読み替えて豊前蔵春学園の校歌とするのはいかがか？
→合岩中の校歌だけが残ることになるが、地元としてそれはどう思うか？
- ・地元の人合岩中と合併前の小学校の校歌は歌えるが、今の合岩小の校歌は歌えない。そういう意味では残すのもいいかもしれない。
- ・校名に蔵春という言葉が入っているので、まず恒遠氏にお願いしてみても断りされたら合岩中の校歌を採用するでもいいのでは。
- ・豊前蔵春学園と名前が決まった時から、恒遠氏に話をしてみるのがいいと思っていた。息子さんも塾をされて教育に携わっていると聞いているので、蔵春園の教育の思いみたいなものが繋がってくるといい。相談してみる意味はあると思う。

▶承認事項

- ・事務局への一任とする。

2 募集要項について

① 応募資格について

▶主な質疑、意見

- ・なし。

▶承認事項

- ・フレーズおよび校歌を公募する場合ともにア。どなたでも応募可能とする。

② 謝礼について

▶主な質疑、意見

- ・通常作詞と作曲は別だと思うが、謝礼の取扱いはどうなる？
→推薦者と予算の範囲内で交渉する。
- ・公募となった場合は、作詞と作曲で合わせて10万円か？

→謝礼は合わせて10万円と考えている。

- ・出来上がった曲を募集するのか？

→そのとおり。

- ・それで10万円は安いかもしれない。

・難しいかもしれないが、音楽の先生が作った曲が卒業式で歌い継がれている例もあるので、公募してみても、チャレンジしようと応募してくる人はいると思う。

- ・公募する時は謝礼の金額は公表するのか？

→公表する。

- ・謝礼を出すことだけ確認して、金額は事務局に任せてもいいのでは。

▶承認事項

- ・フレーズ募集への謝礼は該当者を1名に特定できない場合があるため、なしとする。
- ・金額は事務局へ一任とする。

③ その他募集事項について

▶主な質疑、意見

- ・なし。

▶承認事項

- ・事務局案で承認。

3 フレーズの選定方法等について

▶主な質疑、意見

- ・なし。

▶承認事項

- ・事務局案で承認。

4 校歌の選定・決定方法について

▶主な質疑、意見

- ・音楽の先生は非常勤講師が多い。
→その辺りも含めて事務局で検討する。

▶承認事項

- ・事務局案で承認。